

■安島直円 和算家。天文暦学で成果、藩士として出世しながら、円理について際立つ業績遺し、関孝和に次ぐとされる。

あじまなおのぶ

享保大飢饉・1732= 江戸芝森元町新庄藩邸で生まれる。安島家は新庄藩戸沢家の江戸定府の士である。

・・・・・・1741= 9歳 :

・・・・・・1743=11歳 : 元服。和算の才能を発揮していたことから、父がその大成を願って、直円と命名。

徳川吉宗隠居1745=13歳 :

入江忠に就いた後、

関流第三伝山路主住の門人となり、天文暦学の研究に専念して、

・・・・・・1750=18歳 :

徳川吉宗没・1751=19歳 :

山脇東洋解剖1754=22歳 : 御勘定頭だった父が死去したため、家督を相続。宝暦暦制定に協力し、

・・・・・・1756=24歳 : 吟味役兼御金元方、

大式政治批判1759=27歳 :

大岡忠光没・1760=28歳 :

・・・・・・1762=30歳 : 御勘定頭に昇進、

久留米藩工事1768=36歳 : *「授時曆便蒙」を完成。

田沼意次老中1772=40歳 : この年、*師山路主住が死去して以後、数学研究に没頭し、

解体新書・1774=42歳 : 祇園天王社に算額奉納。

・・・・・・1777=45歳 : 「安子変商稿」、

天明大飢饉始1782=50歳 : 「環員無有奇術」、

田沼意知刺殺1784=52歳 : 「円内容累円術」「廉術変換」、

新庄藩財政回復に功あって、

田沼意次失脚1786=54歳 : 「祇園社額算題答術」。郡奉行格となり、

寛政改革始・1787=55歳 : *本締役を命じられ、120石扶持までになる。

・・・・・・1788=56歳 : 「交食蒙求俗解」、

混浴禁止・1791=59歳 : 「円内容累円術後編」、

松平定信引退1793=61歳 :

60歳を過ぎてから、「弧背術解」「円柱穿空円術」「灣背解術」「十字環真術」「三斜四円術」「六円無有奇術」「円内交斜容円術」など、最大の業績となる円理二次綴術の研究を次々発表、定積分の思想に基づいて、弓形の面積を求めることに成功、さらに、二重積分の問題、二つの直交する円柱の共通部分の体積を求めた。

写楽・・・・・1795=63歳 :

古事記伝・1798=66歳 : 江戸藩邸で、*没した。没後、「不朽算法」刊行。